

令和 7 年度

社会福祉法人知多市社会福祉協議会

事 業 報 告 書

令和7年度 社会福祉法人知多市社会福祉協議会 事業報告

1 連携と協働の仕組みづくり

(1) 市民協働の推進

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	コミュニティ地域福祉活動推進事業	10コミュニティの地域福祉活動推進事業に前年度の会員募集で集めていただいた社協会費の20%をそれぞれ助成しました。	1,459,000	1,453,000	6,000
2	コミュニティ福祉活動協力事務手数料	共同募金運動(戸別募金)に協力いただいた地区へ、実績額の8%を協力事務手数料として支払いました。	364,000	315,897	48,103
3	総合ボランティアセンター管理運営事業	ボランティア活動の情報発信・交流の拠点として、幅広い活動支援を目指し、総合ボランティアセンターの管理運営を行いました。 相談件数：382件 派遣件数：589件 センター来館者数：3,574人 (平均297人/月) 登録：団体63グループ 個人99人 活動：団体727人 個人174人	906,000	775,922	130,078

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	ボランティア研修	総合ボランティアセンター登録の団体・個人ボランティアを対象に、双方が学ぶことのできる研修を開催しました。 期日：10月10日 会場：市民活動センター 内容：知ろう・つながろう 応援し合えるきっかけづくり 講師：①Iぎゅっとパパママ 学級知多～産前産後ケア～ ②福祉救援ボランティア「こだま」 ③夢みるママ ④コミュニティソーシャルワーカー 参加者：13人	39,000	19,080	19,920

No.	事業名		予算額	決算額	差異
5	団体ボランティア運営費等助成金交付事業	総合ボランティアセンターに登録する団体ボランティアの活性化のため、助成金を交付しました。 運営費助成登録1団体 5,000円 ボランティア連絡協議会加盟1団体(追加申請可) 5,000円 交付団体：33団体 合計：225,000円 備品購入費助成 対象：ボランティアセンター登録団体 助成額：200,000円上限 採択団体：1団体 福祉救援ボランティア「こだま」 167,970円	455,000	392,970	62,030
6	総合ボランティアセンター関連会議・研修	職員の資質向上のため研修会、会議へ参加しました。また、団体ボランティアの各種表彰の受賞にあたり、表彰式出席のための旅費を支給しました。	60,000	33,500	26,500
7	ボランティア活動調査研究事業	点訳・音訳事業の利用者ニーズの変化やIT技術の進化を踏まえ、事業のあり方を先進地視察を行わず、調査、研究しボランティア運営委員会で報告しました。	27,000	0	27,000

(2) 関係団体などとの連携の推進

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	市民活動支援事業～活動支援を通じた人材育成～	市民活動センターに拠点を置く総合ボランティアセンター、地域福祉サポートちた、市民大学ちた塾、公募の市民と実行委員会形式で市民活動の支援を通じ人材育成を行いました。 期間：4月6日～3月25日 会場：市民活動センター他 内容：10月25日 市民活動センターまつり 参加者：延べ2,300人	実行委員会で予算計上		

(3) 活動・交流拠点の確保

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	ふれあい・いきいきサロン事業	町内会などで地域住民が気軽に交流できる場の開設支援・情報提供・活動支援を行いました。 市内47か所 新規サロン 堀之内わいわいサロン 解散サロン 健康サロンあゆみ ほっこり 堀之内わいわいサロン 南粕谷元気会	41,000	20,750	20,250

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	総合ボランティアセンター運営委員会	ボランティア活動を推進するために総合ボランティアセンターの運営、活動及び事業について各種団体などで構成された運営委員会で検討しました。 運営委員会：3回	0	0	0

(4) 福祉教育の充実

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	青少年ボランティア・市民活動体験事業	青少年を対象に団体ボランティア、NPO、福祉施設などでボランティア活動を体験する機会を提供しました。 期間：8月1日～8月31日 体験施設・団体数：38 参加者：延べ242人、 実人数158人(中学生69人 高校生88人、一般1人)	145,000	128,203	16,797
2	ふくし川柳	市内の小・中学生を対象に日常生活や実践教室などで感じたことを五・七・五の川柳として募集し、優秀者などを表彰しました。 応募総数：1,025作品 特選3作品・秀作6作品 佳作6作品	80,000	74,140	5,860

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	社会福祉協力校事業(実践教室・社会福祉図書事業)	市内の小・中学校の児童生徒を対象に、福祉に関する実践体験、気づき、振り返りを行い、障がいのある方などとふれあう機会を提供しました。また、社会福祉への理解と関心を高めるため市内の小・中・高など学校へ福祉に関する図書などの教材を配りました。 実践教室 助成額：各校50,000円 学校数：小学校10校 中学校 5 校 体験学習内容 ：講話、車いす体験、手話、点字、ガイドヘルプ、要約筆記、介護体験、防災学習、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座、平和学習、民生委員についてなど 社会福祉図書事業 助成額：20,000円上限 配布数：小学校10校、中学校5校、高等学校1校	1,348,000	1,164,808	183,192

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	福祉教育セミナー	3市1町（大府市・東海市・東浦町・知多市）の福祉教育に携わる当事者やボランティア講師、及び各市町職員が集まる交流会を開催しました。 期日：1月26日 内容：各市町村の取り組みの共有、意見交換 「わたしの福祉教育のやりがい・大切にしていること」	32,000	0	32,000

2 必要な支援を受けられる環境づくり

(1) 包括的な支援体制の構築

(単位:円)

No.	事業名		予算額	決算額	差異
1	あんしんとなり組・避難行動要支援者支援事業	町内会単位であんしん見守りネットワーク活動の普及を図るため、各地域で座談会及び講演会を開催しました。 確認書締結地区：58町内会 あんしんとなり組・避難行動要支援者支援事業講演会 期日：6月28日 内容：「誰一人取り残さない防災に向けて私たちが身につけるべきこと～災害から大切な人を守るために～」 講師：奥村奈津美さん（防災アナウンサー、防災士） 参加者：会場196人 （確認書締結地区役員、民生委員児童委員、関心がある市民、市・社協職員）	202,000	150,210	51,790

No.	事業名		予算額	決算額	差異
2	傾聴ボランティア訪問支援事業	高齢者、障がい者とその家族を傾聴ボランティアが訪問し、話を聴くことによって相手との信頼関係を築きながら、孤独感や不安などを和らげることを目的に行いました。 傾聴ボランティア訪問支援 内容：概ね月2回利用者宅などを訪問 活動者：傾聴ボランティア うさぎ 利用料：無料 登録利用者数：6人 打合せ会：月1回 ボランティアフォローアップ研修 内容：コミュニケーションにおいて求められる傾聴とは 会場：福祉活動センター 講師：西本彩香さん（日本福祉大学 社会福祉学部 助教） 参加人数：15人	32,000	22,000	10,000
3	買物支援ボランティア派遣事業	高齢者などの買物支援が必要な方に、買物支援ボランティアを派遣し日常生活の支援を行いました。 活動日：月～金曜日 10:00～16:00 (週1回1時間程度) 利用料：100円+燃料費200円 登録利用者数：7人 打合せ会：月1回 ボランティアフォローアップ研修 内容：知多市内の買物支援団体間で意見交流会	23,000	8,000	15,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	知多市高齢者相談支援センター (知多包括支援センター) 高齢者虐待相談センター 認知症総合支援事業 (認知症地域支援・ケア向上事業) (認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業)	社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師などの専門職が高齢者の総合相談、介護予防サービスの総合的なマネジメントを行いました。また、高齢者虐待相談センター業務を市から受託し関係機関と連携を図りながら運営しました。 相談件数：8,415件 (介護保険制度、認知症、生活支援などに関すること) 高齢者虐待に関する相談：247件 介護予防・事業対象者支援計画作成件数：8,553件 出前講座 回数：9回 内容：高齢者相談支援センター活動紹介、介護保険、介護予防、認知症の対応など 認知症介護者交流会 回数：12回 参加者：延べ117人 認知症家族支援プログラムの開催 回数：6回 会場：福祉活動センター 参加者：延べ63人	178,206,000	165,476,553	12,729,447

認知症総合支援事業研修会の開催

回数：2回

期日：6月11日

内容：認知症の方を地域で支える、地域住民・専門職の関わりについて

講師：公立西知多総合病院認知症看護認定看護師

大堀ひとみさん

長寿課認知症初期集中支援チーム 徳植弥生さん

参加者：107人

期日：7月15日

内容：みんなで知ろう・防ごう・考えよう～高齢者の虐待について～

講師：知多地域権利擁護支援センター理事長 今井友乃さん

参加者：112人

認知症月間（9月）や認知症の日（9月19日・商業施設・中央図書館）に街頭啓発を実施

小梅カフェ（認知症カフェ）の開催

回数：48回

参加者：延べ246人

チームオレンジの支援

ふれあい・いきいきサロンを対象に認知症の人や家族の支援ニーズに基づくステップアップ研修を実施

期日：11月14日

参加者：53人

チームオレンジメンバー打合せ：8回

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	若者未来応援事業	若者応援隊「まなざし」、サポートネットゆっか、市社会福祉協議会、コニックス株式会社（青少年会館指定管理者）の4者による実行委員会形式で市から受託し、ひきこもり・不登校支援事業を実施しました。 若者サポート進路を考える会 期日：9月21日 内容：当事者体験談、学校の紹介、進路相談 参加者：会場73人 オンライン：22人 若者サポートセミナー 期日：11月9日 内容：「どんなあなたでも大丈夫～母として、精神科医として発達障害・不登校に寄り添う～」 講師：精神科医さわ先生 参加者：会場149人 オンライン：46人	実行委員会で予算計上		

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
6	地域支え合い推進事業（コミュニティソーシャルワーカー受託）	コミュニティソーシャルワーカーを配置し、個別の暮らしの困りごとを制度やサービスにつなぐほか、制度では対応できない課題を地域で話し合う場を設け、見守り活動や居場所づくりにつなげました。 担当地区：5 中学校区 包括支援協議体委員会 回数：3 回 C S W会議 回数：6 回 【八幡中学校区】 ・地域のこと語ろう会から派生した取組「防災ワークショップあそぼうさい」の実施 【東部中学校区】 ・新田小および東部中において、社会の事象に合わせた授業企画・実施を行い、校長・教員・地域住民と協働した福祉実践教室を実施 ・マイペース登校の支援について検討 【中部中学校区】 ・地域のこと語ろう会を事業所とコラボして実施 ・語ろう会から派生した食をテーマにしたイベントの開催 【知多中学校区】 ・防災をテーマにした地域のこと語ろう会を実施 ・地域の社会資源への訪問（サロン・食堂・市民活動） 【旭南中学校区】 ・福祉事業所連絡会の実施 ・福祉事業所と連携し、協力校を実施	32,023,000	29,847,198	2,175,802

【研修】

(1) 知多市地域共生社会づくりフォーラム2025

期日：12月7日

内容：子どもの邪魔をしない教育と次の社会のためのヒント集

会場：知多市勤労文化会館
やまももホール

講師：吉田田タカシさん
(アトリエe.f.t主宰)

参加者：110人

(2) 令和7年度お宝発表会

期日：2月8日

内容：地域の中の住民主体のつながりについて

会場：知多市こども未来館
ホール

講師：酒井保さん（ご近所福祉クリエイター）

参加者：80人

【視察】

第7回地域共生社会推進全国サミットinかが

期日：11月20日・21日

場所：加賀市

【個別支援】

重層支援会議：6回

必要に応じたケース検討の開催及び参画

【地域づくり支援】

地域のこと語ろう会

回数：12回×5地区

福祉協力校事業の開催、
子ども食堂・サロンの活動支援

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業）	生活困窮者に対して相談支援員が困りごとを整理し、自立に向けた個別プランを作成しました。また、関係機関と連携し、課題解決に向けた支援を行いました。 新規相談人数：191人 相談実人数：290人 相談対応件数（延べ）：1,989件 住居確保給付金（初回）申請：3件 住居確保給付金（再支給）申請：1件	18,370,000	17,300,591	1,069,409
8	生活困窮者自立支援事業（無料職業紹介事業）	自立相談支援事業の利用者を対象に、その方の希望や特性に合わせた求職活動、事業所の開拓などを行い、求人情報をホームページや掲示板などで公開し、就労斡旋を行いました。 相談件数：388件 求職登録者数（延べ）：188人 事業所登録件数：34件 就職者数：8人			
9	生活困窮者自立支援事業（家計改善支援事業）	相談者の家計の見直しや債務整理、税の分納相談に同行するなど、家計改善に向けて支援しました。 家計改善プラン作成：6件 相談実人数：49人 相談対応件数（延べ）：289件	6,317,000	6,143,277	173,723

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
10	フードバンク事業(チータンバンク事業)	市と「フードドライブ事業に関する協定書」を締結するとともに、事業の普及啓発を行い、市民や企業から寄付された食料品等は、生活困窮者や地域交流活動団体などへ配布しました。 フードバンク：184件 地域交流活動支援：84件 フードドライブ：160件	160,000	160,000	0
11	日常生活自立支援事業	日常生活に不安を抱えている認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続き、利用料の支払いなどを支援しました。 利用契約者数：15人	1,421,000	845,999	575,001
12	貴重品預かり事業	高齢者、障がい者又は生活困窮者などで判断能力はあるものの、貴重品や金銭管理などの自己管理が十分に行えない方が、安心した生活を送れるよう支援しました。 利用契約者数：2人	16,000	15,000	1,000
13	法人後見事業	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者で意思決定が困難になった方の財産管理、身上監護などを行うため、法人として成年後見制度を利用し、本人の権利を擁護しました。 法人受任件数：3人	950,000	204,194	745,806

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
14	資金貸付事業	低所得者・障がい者・高齢者に対する資金貸付と相談支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により特例貸付を利用した方に対し、相談・償還手続きの支援を行うことにより経済的自立や社会参加の促進を図りました。 生活福祉資金 福祉費：1件 教育支援資金：1件 特例貸付相談・償還手続き支援：425件 つなぎ資金 貸付件数：15件 貸付総額：577,000円 償還件数：58件 償還総額：555,000円 償還免除：3件 償還免除金額：47,000円	15,217,000 (内訳) 生活福祉資金 11,786,000 つなぎ資金 3,431,000	12,154,284	3,062,716

(2) 情報提供の充実

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	社協だより「ちたのふくし」の発行	社協の活動を市民に広く周知し、福祉への理解、関心を高めるために広報紙を4回、全戸配布しました。 7月：「ヘルパーの魅力紹介します」 ホームヘルパーの仕事紹介、職員募集、決算報告 10月：「こんなことやってみたい」 CSW紹介、居場所立ち上げ支援、ふくまる通信、地域のこと語ろう会、赤い羽根共同募金のお知らせ 1月：「もったいないをありがとうに」 フードドライブ事業の紹介、ふくし川柳作品紹介 4月：「社協会費こんなところに生きています」 社協会費の概要、使途の説明。福祉体験作文コンクール入選紹介、事業計画、会員募集お願い、共同募金運動のお礼 毎号掲載：寄附報告、各課からのイベント情報・お知らせ	4,170,000	4,169,016	984

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	第25回福祉フェスティバルの開催	市と共催し、市内における福祉事業や各種団体の福祉活動を広く住民に紹介することで、住民参加の増進を図るために開催しました。 期日：10月25日、26日 会場：メディアス体育館ちた 入場者：17,000人 参加団体：58団体（重複参加含む） 内容：各種団体などの活動発表、福祉体験、施設紹介、事業紹介、ゲーム、福祉フェスティバル作品展他	4,152,000	4,101,156	50,844
3	デジタル広報媒体事業	ホームページ、インスタグラム、LINEなどのSNSを活用し広く、情報発信に努めました。 内容：各事業案内、募集、事業報告、収支決算、事業計画、収支予算、赤い羽根作品コンクール・ふくし川柳入賞作品など	791,000	639,188	151,812

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	視覚障がい者情報提供事業	視覚障がいのある方に音訳 ・点訳により「ちたのふくし」・「広報ちた」などの情報提供を行いました。また、音訳情報のCD化と音訳図書の設置を総合ボランティアセンターで継続して行いました。 利用者数：11人 発送数： 〔音訳数〕 362本 〔点訳数〕 195冊 協力団体： ・声のたより「青空」 ・情報録音ボランティア「じゅげむ」 ・ルポン ・点訳サークル てんてん	193,000	0	193,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	情報誌発行事業	総合ボランティアセンターに登録する個人・団体の情報を市民へ広く発信するために「ボランティアタウンちた」を発行しました。 発行部数： 「知りたい人、やりたい人編」500部 「してほしい人編」800部 配布先：市内公共施設、民生委員などの関係者 内容：センター利用ガイド、派遣手続き、グループ紹介など ボランティア活動に関心を持ってもらうために、市内全戸配布の社協だより「ちたのふくし」にボランティアに関する情報を掲載しました。また、ホームページ・SNSを活用して情報発信をしました。 発行回数：4回 (7月・10月・1月・4月) 配布方法：全戸配布	537,000	532,032	4,968

(3) 災害時の支援体制の整備

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	災害ボランティアコーディネーター基礎力向上講座	災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者に基本的な演習を通じて資質向上を図るため福祉救援ボランティア「こだま」と協力して開催しました。	8,900	0	8,900
2	災害時対応物品整備事業	災害時の社協の初動に必要な物品を備蓄しました。 購入物品：ワンタッチテント	298,000	277,255	20,745
3	災害ボランティアコーディネーター入門講座	災害ボランティアセンター、災害ボランティアコーディネーターのことを知ってもらい、参加の契機となることを目的に入門講座を開催しました。 期日：12月21日 講師：鶴島道子さん （元陸前高田市職員） 西川賢次さん （防災士） 市防災危機管理課職員 市社会福祉協議会職員 参加者：28人	68,000	38,511	29,489

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	災害救援ボランティア派遣事業	災害時に被災地支援としてバスを借り上げ災害ボランティアを派遣しますが、本年度はありませんでした。	-	-	-

3 誰もが参加できる活動の場づくり

(1) 健康づくり・介護予防の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	【収入】 介護保険外対応 ホームヘルプ事 業（生活応援サ ービス「かがや き」）	入退院時や病院内の介助な ど、介護保険制度では対象と ならないサービスを提供しま した。 利用回数：105回	300,000	318,200	△ 18,200

(2) 生きがいつくりと社会参加の促進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	総合ボランティア センターミニ 講座	総合ボランティアセンター に登録しているボランティア が講師・協力者となり、日頃 の活動を市民に広く周知しま した。 回数：20回 参加人数：延べ142人	5,000	4,920	80
2	移送サービス事 業 車いす貸し出し 事業	移送サービス事業 車いすを使用され外出が困 難な方に福祉車両の貸し出し を行い、社会参加支援を行いま した。 福祉車両：車いす対応車両 2台 利用件数：60件 利用者登録数：31人 車いす貸し出し事業 高齢者、身体障がい者・傷 病者の方などに車いすを貸し 出し、日常生活の便宜を図り ました。 保有台数：53台 貸出件数：236件	836,000	379,474	456,526

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	【収入】 障がい者居宅介護等事業	身体障がい、知的障がい、精神障がいのある方にホームヘルパーを派遣してそれぞれに応じた身体介護・家事援助などを行い、自立した生活の支援をしました。 利用回数：居宅介護3,163回 移動支援151回	21,000,000	20,812,015	187,985
4	【収入】 ひとり親家庭等日常生活支援事業	母子家庭・父子家庭などで就職活動、疾病、生活環境の変化などにより生活援助が必要な家庭にホームヘルパーを派遣して、保育、調理、洗濯などのサービスを提供しました。 利用回数：10回	26,000	74,800	△ 48,800
5	子育て世帯訪問支援事業	家事・子育てに対して不安や負担を抱える子育て家庭にホームヘルパーを派遣して、調理、洗濯、掃除、保育園の送迎などのサービスを提供しました。 利用回数：57回	880,000	497,200	382,800

6	各種福祉団体の支援	民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、子ども会連絡協議会、遺族会の事務局として、団体の事業や運営を支援しました。また、助成金を交付し、活動を支援しました。 民生委員児童委員協議会 185,640円（運営費） 身体障害者福祉協議会 50,000円（事業費） 子ども会連絡協議会 11,000円（運営費） 子ども会連絡協議会 50,000円（事業費） 遺族会 50,000円（事業費）	347,000	346,640	360
No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	応援アンバサダー事業	アフターコロナを見据え、主に在宅でできる作成ボランティアを「応援アンバサダー」と称し、ボランティア活動の活性化を図りました。 牛乳パックブロック 受取り数：2,052個 お渡し数：2,158個 折り鶴でつながろう！平和の心プロジェクト 作成数：122,493羽	30,000	29,202	798

(3) 多様なつながりと交流の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	ボランティア連絡協議会への助成	団体ボランティアで組織するボランティア連絡協議会に対して、事業・運営に関する活動費を助成しました。	20,000	20,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	フリースペース「ひみつきち」 (発達障がい児居場所づくり事業)	発達に不安のある子どもとその保護者とともに、一人ひとりが安心して過ごせる家庭的な居場所を設けました。 回数：14回 開催：夏休み（6回）、第3土曜日（8回） 会場：福祉活動センター他 内容：レクリエーション、社会参加体験など 参加人数：利用者55人、家族48人、ボランティア85人（いずれも延べ）	52,000	18,104	33,896
No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	長期・年長ひきこもりを抱える家族の集い	ひきこもりの子を持つ家族同士が悩みなどを自由に話し合うことで、ひきこもる本人に対する理解を深め、対応の仕方などを情報交換したり、家族自身の持つ力を取り戻すために開催しました。 回数：4回 開催：5・8・11・2月 第4火曜日 参加人数：18人	4,000	4,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	障がいについて 考えてみよう会	障がいのある方や家族、支援者が交流会を通して災害への不安や困りごとを話し合いました。地域住民や民生委員児童委員にも参加を呼びかけ、状況を知ってもらい、顔をつなぐ機会としました。 回数：1回 期日：10月3日 会場：メディアス体育館ちた大会議室 内容： 第1部 報告 ①知多市個別避難について（市福祉課） ②ひなんさんぽ実践報告（八幡コミュニティ） 講演：「わたしのひなん計画～障がい者にとっての防災とは～」 講師：鍵屋一さん（跡見学園女子大学教授） 第2部 グループワーク：「わたしのひなん計画」と、その活用としての「ひなんさんぽ」について話し合いました。 参加人数：79人	157,000	135,890	21,110

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	地域食堂交流会	「食」を通じた居場所活動として、物資支援、活動者交流、研修を定期的に行いました。食材の需給調整はフードバンクと連携しLINEでの食材情報提供を行い、関係者と連携を図りました。 【研修会】 期日：10月30日 会場：メディアス体育館ちた 講師：栗林知絵子さん（認定NPO法人豊島子どもWA KUWAKUネットワーク） 内容：地域の子どもの想い、おせっかいで子どもを支える社会へ 参加人数：34人 【食堂de寄り合い】 期日：年2回 6月23日、3月3日 会場：福祉活動センター 参加人数：計46人	359,000	358,344	656

4 信頼される社協づくり

(1) 組織体制強化

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	福祉功労者顕彰	福祉活動の功績が顕著な個人・団体などに、表彰状、感謝状の贈呈を行いました。 表彰：6件 感謝：5件	51,000	23,150	27,850
2	役員研修	理事、評議員に対して社会福祉協議会に求められる役割の変化、役員としての関わりなどについて研修を行いました。 期日：11月5日 会場：福祉活動センター 内容：第5次知多市地域福祉計画の策定のポイントについて 講師：篠原辰二さん(Wellbe Design 理事長)	100,000	100,000	0
3	職員研修	職員の資質向上のために一般事務員、高齢者相談支援センター職員、ホームヘルパー、コーディネーターを対象に組織的、職能的、技術的な研修を実施しました。 内容：職員全体研修、新規採用職員研修、キャリアパス研修、CSW研修、交通安全研修、発展強化計画など	218,000	103,320	114,680

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	福祉活動センターの管理運営	福祉団体・ボランティアグループなどの活動拠点である福祉活動センターの指定管理を市より受託し、サービスの向上に努めました。 年間利用者数： 1,238件 14,087人	11,659,000	10,717,873	941,127

(2) 財源強化

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	会員募集	自主財源確保のため、会員募集を各コミュニティを通じて行いました。また、加入促進を図るため、市内法人社、事業所などへ出向き直接依頼しました。 会費収入 一般会員(500円) 13,178件 6,588,700円 特別会員(1,000円以上) 428件 432,100円 法人会員(3,000円以上) 156件 711,000円 合計 7,731,800円	1,301,000	943,162	357,838

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	自動販売機設置事業	市内公共施設に自動販売機を設置し、収益を事業に充当しました。 設置台数：市内 4 か所 5 台 設置場所： ・福祉活動センター ・消防署八幡出張所 ・ふれあいプラザ ・こども未来館	404,000	341,168	62,832

(3) 介護保険等事業の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	障がい者相談支援センター 特定相談支援事業	障がいのある方やその家族などへの情報提供、相談、支援を行う障がい者相談支援センターを 3 法人（知多福祉会、NPO 法人びすた〜り、知多市社会福祉協議会）で共同運営しました。 特定相談支援事業では、サービス等利用計画の作成などを行いました。 事業所名：障がい者相談支援センター 相談実人数（3 法人）：149 人（月平均） 障がい者相談件数（3 法人）：10,368 件 事業所名：障がい者計画相談支援事業所しゃきよう サービス利用など計画作成件数（計画案含む）：169 件 認定調査件数：42 件	20,075,000	19,068,096	1,006,904

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	【収入】 訪問介護事業	要介護の方の排泄などの身体介護、調理や洗濯などの家事援助、要支援の方の予防訪問介護サービスを提供しました。 事業所名：社協ヘルパーステーション サービス提供時間：年中無休 7 時～21 時 訪問介護利用回数：4,349 回 介護予防訪問介護利用回数：1,630 回	32,400,000	26,315,428	6,084,572

(4) 市民への P R

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	公式マスコットキャラクター活用	知多市社会福祉協議会の認知度向上のため、マスコットキャラクター「チータン」を活用し、ステッカーやメダルなどを作成するなど、親しみやすい社協を P R しました。	123,000	45,540	77,460